



# 夏の風物詩

お ゼ う かい

# 小瀬鵜飼

5月11日火開幕～10月15日金

奥長良川  
県立自然公園

小瀬長良川河畔にて

照会先 関市観光協会  
☎ 22-3131



清流長良川河畔、小瀬の里で繰り広げられる小瀬鵜飼は、一千有余年もの歴史をもつ伝統漁法。風折鳥帽子に腰蓑といった、昔から変わらぬ衣装を身にまとった鵜匠が、篝火を頼りに見事な手縄さばきで鵜を操る姿は実に美しく幻想的です。

このダイナミックで幽玄な夏の風物詩「小瀬鵜飼」を、風流な屋形船に乗つて目の前で楽しむことができます。

## 申し込みと料金

鵜飼の観覧には予約が必要です。申込・照会先は関遊船(株)事務所(午後1時～☎②222506 Fax②37980)、または関遊船登録店(関遊光ホテル☎②221166、鵜匠の家岩佐☎②1862)。

※弁当の手配もできます。

遊船料金表 (消費税込み)		
貸切料金	10人乗屋形船	28,000円
	20人乗屋形船	51,000円
乗合料金	大人	3,500円
	小人 (小学生以下)	2,500円

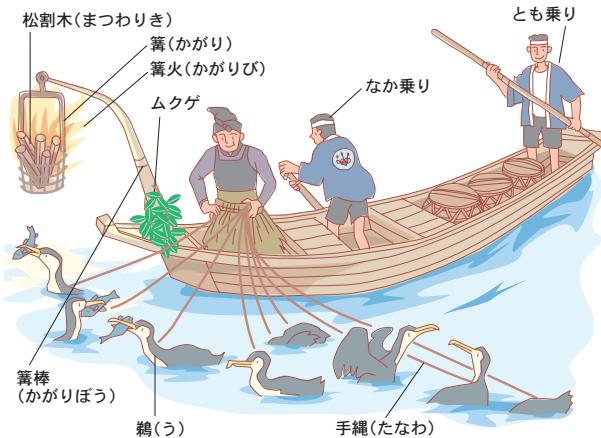
## 小瀬の鵜飼は

ひと味  
違う



## 図解 小瀬の鵜飼のヒミツ

小瀬の鵜飼の主役は鵜。操る鵜匠とともに、とも乗り、なか乗りが鵜舟に乘ります。この3人が1組となり、鮎を捕りながら川を下っていきます。



●鵜 舟…全長11メートルの鵜匠の舟。鵜匠となか乗り、とも乗りが乗る。

●とも乗り…鵜舟を操る責任者。

●なか乗り…鵜匠、とも乗りの助手。

●かがり 箍 ひ…火…照明のため、松割木を燃やす。

●た手 なわ 縄…鵜匠は手縄が絡み合わないよう上手にさばいて鵜を操る。

●ムクゲ…かがりほう 箍棒のすべりをよくするため、ムクゲが使われる。

## お得な鵜飼パック

小瀬の鵜飼を手軽に楽しむことができる、お値打ちな「鵜飼パック」があります。この鵜飼パックには弁当と飲み物が付いていますので、この機会に仲間や家族でぜひ、ご利用ください。

◆期間 5月12日(水)～6月30日(水)

◆料金 大人4,900円(弁当・飲み物付)  
小人3,200円

◆申込先 乗船希望日の5日前までに、関遊船(株)事務所へ

鵜が捕った鮎を目の前で  
見ることができます



仕事を終えた鵜たちは  
鳥屋へ

